



VOICELIVE *play* **GTX**
HARMONY & EFFECTS FOR SINGERS

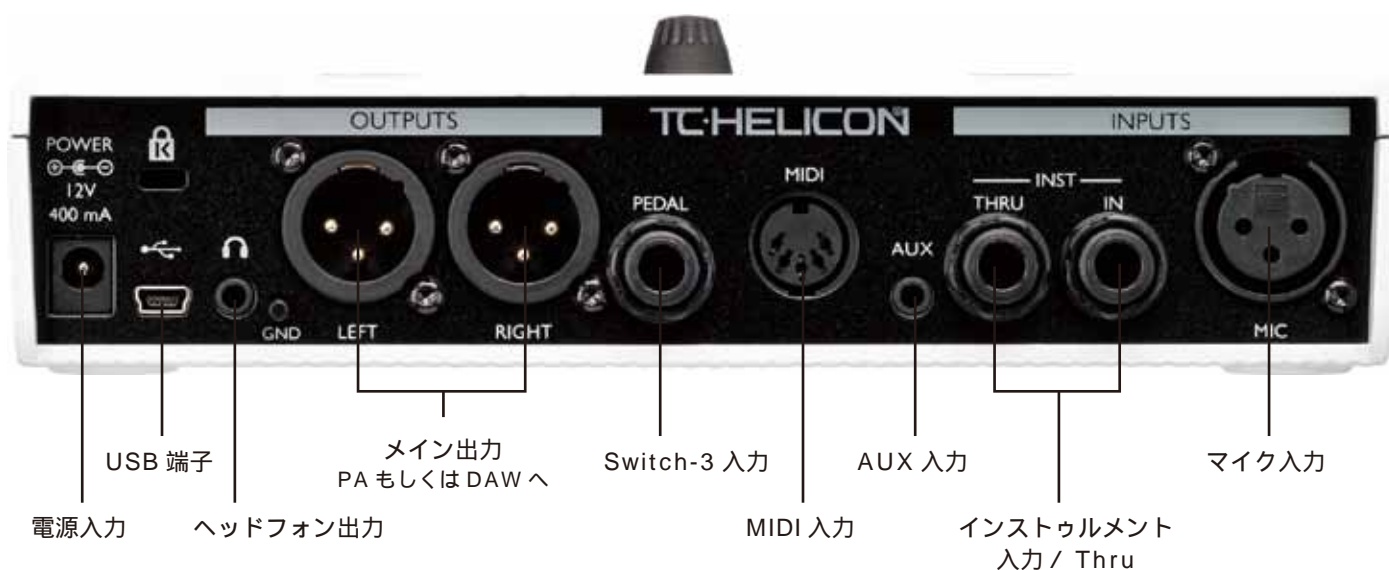
ユーザー・マニュアル

v1.9

目次

接続	P03
基本機能	P04
ボタンの役割	P08
セットアップ	
入力	P09
出力	P12
システム設定	P13
ループ機能	P15
MIDI 設定	P16
搭載エフェクト (ボーカル編)	P18
μMod モジュレーション	P19
Delay (ディレイ)	P20
Reverb (リバーブ)	P21
Harmony (ハーモニー)	P22
Double (ダブリング)	P23
HardTune (ハードチューン)	P24
Transducer (トランスデューサー)	P25
搭載エフェクト (ギター編)	P26
ミックス設定	P29
Practice (練習) モード	P30
トラブル・シューティング	P31
プリセット一覧	P32

接続



電源入力：付属のパワーサプライを接続します。

USB端子：VoiceLive Play GTXをコンピューターを接続する際に使用します。付属のUSBケーブルをご使用ください。無償提供の「VoiceSupport」アプリケーションを使用し、プリセットの管理やファームウェアのアップデートが行えます。

ヘッドフォン出力：ヘッドフォンを接続します。

メイン出力：ミキサーやオーディオ・インターフェイスに接続します。ハムノイズ防止のため、必ずバランス・ケーブルをご使用ください。

Switch-3入力：Switch-3リモート・フットコントローラーを（別売）接続用端子。Switch-3に付属されるTRSケーブルをご使用ください。Switch-3を使用すると、ループ機能へのアクセスが容易になります。

MIDI入力：キーボードやPCのMIDIと接続し、ハーモニーやHardTuneエフェクト用のキー／スケール情報を指定することが可能です。一部CCの割り当ても可能です。

AUX入力：mp3プレイヤーを始め、好きな音楽再生デバイスを接続できます。接続には1/8インチ・ミニジャックをお使いください。ここから入力された楽曲を元に、VoiceLive Play GTXはキー／スケール情報を自動で検出します。

インストゥルメント入力 / Thru：ギター、もしくはキーボードのオーディオを入力すると、VoiceLive Play GTXはキー／スケール情報を自動で検出します。またここから入力された信号に対しては、VoiceLive Play GTXの内部エフェクト・プロセッシングを使用することが可能です。VoiceLive Play GTXの内部プロセッシングを使用したくない場合は、Thru端子からコンパクト・ペダルやアンプなどの機器へ接続し、シグナルをバイパスします。

マイク入力：ダイナミック／コンデンサー両マイクタイプに対応します。TC-Helicon社製MP-75マイクを接続すると、直接マイクからプリセットに組み込まれている機能のOn/Off操作が可能となります。接続するマイクによって種類とレベルを設定してください。

ご注意ください：電源は必ず付属の専用パワーサプライをご使用ください。専用パワーサプライ以外の電源で使用して発生した製品の不具合は、保証対象外となります。



VoiceLive Play GTXにマイクを接続し、マイクの種類（ダイナミック／コンデンサー／MP-75）を設定したら、マイクゲイン・ツマミでマイクの入力レベルを調整します。

入力レベルを調整する際は、VoiceLive Play GTX上面の入力LEDにご注意ください。

- 緑：適正入力レベル
- 黄：適正入力上限レベル
- 赤：過大入力レベル

LEDが赤色に点灯すると、出力が歪みノイズの原因となります。



LCDディスプレイ表示項目

- 1) プリセット名（ここでは「GEDIT STARTED」）
- 2) プリセット番号（ここでは「27」）
- 3) FAV : 選択したプリセットが「FAVORITE（お気に入り）」ボタンでお気に入り登録されていると表示されます。
- 4) NP : NaturalPlay自動キー／スケール検知が作動していると表示されます。
- 5) LOOP : バックグラウンドでループが再生中の時に表示されます。
- 6) GENRE : 「GENRE（ジャンル）」ボタンでジャンル指定している場合に表示されます。（ここでは「POP」）
- 7) MIDI : MIDI情報を受信した際に点灯します。

NaturalPlayとは・・・？

VoiceLive Play GTXはハーモニー・エフェクトなどを楽曲に対して違和感なく生成するために、いくつかのオーディオ・ソースから楽曲のキー／スケール情報を自動的に取得します。ギターもしくはキーボードなどの楽器をインストゥルメント入力に接続している場合、VoiceLive Play GTXは優先的にそこからキー／スケール情報の取得を試みます。インストゥルメント入力 > MIDI > AUX入力 > RoomSense内蔵マイク、の順番でVoiceLive Play GTXはキー／スケール情報を取得します。

「NP」表示はVoiceLive Play GTXがキー／スケール情報を検知した際に点灯します。



フットスイッチの機能

1) UP / DOWNスイッチ：プリセットを切り替える際に使用します。1回押すと隣のプリセットに移動します。長押しすると、プリセット間をスクロールすることができます。

2) HIT/TALKスイッチ：通常動作では、このスイッチを押すと予めプリセットに組み込まれている追加エフェクトがOn/Offされます。同一プリセット内で、コーラス部のみにハーモニー・エフェクトをプラスしたい時などに使用します。

3) HIT/TALKスイッチを長押しすると、VoiceLive Playは「TALK (MC)」モードに入ります。TALKモードが作動中の時は、エフェクト類が全てミュートされ、マイク入力の信号はそのままメイン出力にバイパスされます。曲間のMCなどで使用するのに便利です。

4) ▲UP/▼DOWNスイッチを同時に長押しすると「LOOP (ループ)」モードに入ります。LOOPモード時では「▼DOWN」スイッチはREC (録音) /PLAY (再生) /OVERDUB (オーバーダブ) の機能を果たし、「▲UP」スイッチはストップ/クリアを行います。LOOPモードを終了するにはHIT/TALKスイッチを押します。ループが再生中にLOOPモードからEXITし、別のプリセットに切り替えてから再度LOOPモードに入り、オーバーダブを行うことも可能です。「▼DOWN」スイッチを長押しするとUNDO (やり直し) 操作が実行されます。

※初期設定では、▲UP/▼DOWNスイッチ同時長押し操作はLOOPモードへのアクセス機能として割り当てられています。「SYSTEM (システム)」メニュー内の5ページ目でこの機能はキー/スケール設定機能に変更することも可能です。詳細は下記を参照ください。

5) 「▲UP」スイッチとHIT/TALKスイッチを同時に長押しすると、タップテンポ機能にアクセスできます。本機能は、ディレイなどのエフェクトを楽曲のテンポに合わせる時に使用します。タップテンポ機能が作動すると、現在のテンポがディスプレイに表示されます。HIT/TALKスイッチを楽曲のテンポに合わせて押すと、テンポが変更できます。HIT/TALKスイッチを一定時間踏まないと、自動的にタップテンポ機能が終了し、通常のプリセット画面に戻ります。

6) ▲UP/▼DOWNスイッチの同時長押しでキー/スケール設定機能にアクセスできます。本機能は、ハーモニーやHardTuneなどのエフェクトを適切に生成する際に必要となる楽曲のキーやスケール情報をマニュアルで設定する場合に使用します。

※楽曲のキー/スケールが分からない場合は、楽曲の一番最後に使用されるコードをキーに、「Major 2」をスケールに設定してみてください。世に存在するポップソングの大半は、この設定で効果的なハーモニー/HardTune生成が可能です。



コントロール・ノブ、及び矢印ボタン

コントロール・ノブはプリセットを移動したり、各編集メニュー内の設定を調整する際に使用します。矢印ボタンもプリセットの移動や、スタイル／ジャンルを切り替える際に使用します。

BACK (戻る) ボタン

現在のメニュー画面やモードからEXITする際に使用します。

STORE (保存) ボタン

プリセットをカスタマイズした際に、その変更内容を保存する時に使用します。1回押すとプリセット名や保存場所を指定する画面が表示されます。再度押すと、指定した名前と場所にプリセットを保存します。

プリセット名の変更 : STOREボタンを1回押した後で、「◀」の矢印ボタンで文字／数字を変更します。

保存場所の変更 : STOREボタンを1回押した後で、「▶」の矢印ボタンで保存場所を指定します。

もしプリセットに加えた変更内容を保存したくない場合は、BACKボタンを押します。

ボタン類の詳細は次のページにてご確認ください。

ボタンの役割

ソフトボタン

VoiceLive Play GTXの上面には、LCDの左右両側に3つずつ、合計6個のソフトボタンが配置されています。各ボタンは、ディスプレイに表示されているページ内に使用できる項目がある場合にのみ、白色、もしくは青色に点灯します。白色に点灯している場合は、ボタンに印字されている機能が使用できます。青色に点灯している場合は、ディスプレイに表示されているボタンの横の項目を選択/非選択するのに使用できます。



GENRE (ジャンル) ボタン

プリセットをソートするボタンです。ソート基準は楽曲のスタイルやエフェクト・タイプ、アーティスト&曲名など、複数用意されています。「GENRE (ジャンル)」メニュー内のナビゲーションはコントロール・ノブで行います。「BACK (戻る)」ボタンを押すと、選択されているソート・ジャンルに格納されているプリセット一覧が表示されるメイン・ウィンドウに戻ります。1つのプリセットは複数のソート基準を有する場合があります。

FAVORITE (お気に入り) ボタン

特定のプリセットをお気に入り登録しておく、再度そのプリセットを呼び出したい時に素早く行えるようになります。お気に入り登録するには、登録したいプリセットが呼び出されている状態で「FAVORITE (お気に入り)」ボタンを押すだけです。お気に入り登録されたプリセットは、上図の様に、LCDディスプレイの右上に「FAV」と表示されます。複数のプリセットをお気に入り登録しておく、
「GENRE (ジャンル)」ボタンでソート機能を使用した時に、ソート基準の一つに「FAV」が表示されます。ここで「FAV」を選択すると、お気に入り登録してあるプリセットの一覧が表示されます。

VoiceLive Play GTXの各種入出力設定は、「SETUP（セットアップ）」ボタンでアクセスできるセットアップ画面にて行います。



Mic Type (マイク・タイプ)

本項目では、使用するマイクのタイプ（ダイナミック／コンデンサー／MP-75／USB）を設定します。

1) DYNAMIC MIC (ダイナミック・マイク) :

SHURE SM-58やAUDIX OM5などのダイナミック・マイクを使用する際に選択します。

2) CONDENSER MIC (コンデンサー・マイク) :

SHURE Beta 87Aなどのコンデンサー・マイクを使用する際に選択します。

3) MP-75 :

TC-Helicon社製MP-75マイクを使用する場合に選択します。MP-75にはマイク本体にコントロール・ボタンを搭載されており、手元からVoiceLive Playを遠隔操作できます。初期値では、このコントロール・ボタンはVoiceLive Play GTXの「HIT」ボタンのOn/Off操作が割り当てられています。

4) USB :

USBポートからデジタル・オーディオをVoiceLive Play GTXに流し込むことができます。

RoomSense

本項目では、VoiceLive Play GTX本体に搭載されているステレオ・コンデンサー・マイク（RoomSenseマイク）の機能を設定します。

1) AMBIENT (アンビエンス) :

RoomSenseマイクで拾われた音はヘッドフォン出力へ送られます。RoomSenseマイクのレベルは「MIX（ミックス）」セクションで調整できます。フィードバックを防ぐため、RoomSenseマイクで拾われた音はメイン出力には送られません。

2) AMBIENT/AUTO (アンビエンス/オート) :

RoomSenseマイクで拾った音をヘッドフォン出力に送るのに加え、この音声信号から自動的に楽曲のキー／スケール情報を解析するモードです。VoiceLive Play GTXは単一の楽器／バンド・アンサンブルに関わらずキー／スケール検知が可能で、この情報を元に適切なハーモニーとHardTune効果を生成します。

3) Voice (声) :

マイクをお持ちでない時に、ボーカル入力用に使用します。音声はヘッドフォンにのみ送られます

セットアップ | 入力 (続き)

Guitar (ギター入力ゲイン)

ギター入力ゲインを設定します。まずはじめに、もっとも激しく演奏する時の強さでギターを弾き、赤い「IN」LEDが点滅するレベルまでゲインを上げていきます。LEDが赤く光るレベルから3~4 dBレベルを下げると適切値になります。ここで設定するレベルが低過ぎたり高過ぎたりすると、VoiceLive Play GTXの内部エフェクト・プロセッシングが正常に動作しなかったり、ノイズの原因となりますのでご注意ください。

Mic Control (マイク・コントロール)

TC-Helicon社製「MP-75」マイク (別売) を使用する際の、マイク本体のコントロール・ボタンの機能を設定します。

1) HIT :

VoiceLive Playの「HIT」ボタンのOn/Offが操作できます。

2) HIT + TALK :

VoiceLive Playの「HIT」ボタンのOn/Offが操作できます。

また長押しすると「TALK (MC)」モードに入り、全てのエフェクトがバイパスされます。

3) PRESET UP (プリセット・アップ) :

次のプリセットに切り替えます。

4) LOOP (ループ) :

RECORD (録音) / PLAY (再生) / UNDO (やり直し) と言ったループ・モードでの操作が可能となります。

Tone Style (トーン・スタイル)

アダプティブ・トーン (EQ + コンブ + ノイズゲート) のスタイルを9種類の設定の中から選択できます。

1) OFF : アダプティブ・トーン適用なし

2) NORMAL (ノーマル) : 適度なダイナミクス処理を加え、ナチュラルな音声に仕立てます。

3) LESS BRIGHT (高域抑えめ) : NORMALに比べ、高域を少し抑え気味のEQを施します。

4) NORM + WARMTH (ノーマル + ウォームス) : 中域を少し持ち上げ、温かみのある声に仕立てます。

5) MORE COMP (コンブ強め) : 強めのコンブを適用します。歌のダイナミック・レンジが広い楽曲に適しています。

6) NORM NO GATE (ゲートなし) : NORMALからノイズゲートを除いた設定。

7) LESS BRIGHT NG (高域抑えめ、ゲートなし) : LESS BRIGHTからノイズゲートを除いた設定。

8) WARMTH NG (ウォームス、ゲートなし) : NORM + WARMTHからノイズゲートを除いた設定。

9) MORE COMP NG (コンブ強め、ゲートなし) : NORM + WARMTHからノイズゲートを除いた設定。

Pitch Cor Amt (Pitch Correction Amount / ピッチ補正適用量)

VoiceLive Play GTXが声に対して施すピッチ補正の適用量を設定します。

ピッチ補正を適用しながら自然なサウンドに仕上げたい場合は、適用量を50%以下で使用してみてください。

強制ピッチ補正の独特な効果を得たい場合は、適用量を100%近くに設定してみましょう。

ピッチ補正を初めて使う場合、声がダブリングされて聴こえてくる錯覚を覚えるかも知れません。これはピッチ補正によって修正された声と、自分の元の声の音程のズレにより発生する現象です。この錯覚は、ピッチ補正を使っていくうちに慣れてくるでしょう。またオーディエンスにはこのダブリング効果は聴き取れないので、安心してご使用ください。

セットアップ | 出力

Output (出力)

本項目では、VoiceLive Play GTXのメイン出力の動作を設定します。メイン出力設定は、次の3種類から選べます。

1) STEREO - XLR (ステレオ - XLR) :

声、及びその他の全ての入力信号をステレオ出力します。

2) MONO - A MONO (モノラル - Aモノラル) :

フルミックス・信号をLチャンネル、リードボーカル・信号をRチャンネルから出力します。アダプティブ・トーン、及びPitch Cor Amt (ピッチ補正適用量) で設定されている内容もRチャンネルに含まれます。

3) DUAL MONO (デュアル・モノ) :

リードボーカル、及びハーモニーなどの声に対してプロセッシングされた信号は全てLチャンネルから、その他のギター/AUX / デジタル・信号は全てRチャンネルから出力されます。ループはステレオで出力されます。

Vocal Cancel (ボーカル・キャンセル)

AUX入力から入力された音声から、カラオケ・トラックを作成します。次の2設定から選べます。

1) OFF (オフ) :

ボーカル・キャンセルを行いません。

2) ON (オン) :

AUX入力から入力された音声の特定の周波数帯域を下げ、カラオケ・トラックを作成します。楽曲のミックスやボーカル成分の周波数分布によってその効果は異なります。楽曲から完全にボーカル成分を除去することは不可能ですので、予めご了承ください。

Lead Mute (リードボーカル・ミュート)

リードボーカルをミュートし、エフェクト・プロセッシングされた音声のみを出力します。

1) OFF (オフ) :

リードボーカルもメイン・ミックスにルーティングされます。

2) ON (オン) :

メイン・ミックスからリードボーカルが除去され、エフェクト・プロセッシングされた音声のみが出力されます。

USB Out Level (USB出力レベル)

USB出力レベルを調整します。

Headphone Lim (ヘッドフォン・リミッター)

ヘッドフォン出力リミッターの作動開始ポイントを設定します。0 dBに近いほど、ヘッドフォン出力レベルは高くなります。



LCD Contrast (LCDコントラスト)

LCDディスプレイのコントラスト濃淡を調整します。

UP/DN Function (UP / DOWNスイッチ機能設定)

▲UP/▼DOWNスイッチを長押しした時の動作を設定します。

1) LOOPING (ループ・モード) :

ループ・モードにアクセスします。

2) SET KEY (キー設定) :

キー/スケール設定モードにアクセスします。

Lead Delay (リードボーカル・ディレイ処理)

ボーカルにエフェクト・プロセッシングを施す際、VoiceLive Playには処理遅延が発生します。この処理遅延時間を補填するために、リードボーカルの信号を遅らせるかどうかを設定します。この処理を行うことにより、完璧なタイミングでハーモニーなどの効果をリードボーカルに同期させることが可能となります。

1) OFF (オフ) :

リードボーカルに対して遅延処理を行いません。

2) VOICE SYNC (ボーカル・シンクロ) :

全エフェクトをONにした時に発生し得る最大の処理遅延時間をリードボーカルに対して適用します。

3) AUTO (自動) :

現在有効となっているエフェクト・ブロックで発生し得る処理遅延時間をリードボーカルに対して付加します。使用されるエフェクト・ブロック数によって、VoiceLive Playは自動的に処理遅延時間をリードボーカルに適用していきます。

Tune Reference (リファレンス・ピッチ)

リファレンス・ピッチを0.5セント単位で変更できます。初期設定値は440 Hzになります。

Pitch Pipe Level (ピッチパイプ・レベル)

Practice (練習) モードにおけるピッチパイプのレベルを調整します。

AUX In Type (AUX入力タイプ)

ハーモニー・エフェクトをより正確に生成するために、AUX入力端子から外部音声を取り込みます。AUX入力タイプは次の2種類から選択できます。

1) LIVE (ライブ) :

ライブで使用する場合、もしくはDAWからボーカル・ガイドトラックを流し込む際に選択します。

2) TRACKS (トラック) :

mp3プレイヤーなどから既存曲を流し込む際に選択します。

Global Key (グローバル・キー)

ハーモニー生成、及びピッチ補正を行う際にキー情報の参照元を設定します。

1) OFF (オフ) :

キー情報はプリセット毎に、直接キー指定 (C、D、F#、etc.) RoomSenseマイク、もしくはオート・モードにて設定できます。

2) ON (オン) :

あるプリセット内でキーが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたキーが継承されます。

Global Tempo (グローバル・テンポ)

テンポ情報の参照元を設定します。

1) OFF (オフ) :

テンポ情報はプリセット毎に設定できます。

2) ON (オン) :

あるプリセット内でテンポが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたテンポが継承されます。

Global Guitar FX (グローバル・ギターエフェクト)

ギターエフェクトの参照元を設定します。

1) OFF (オフ) :

ギターエフェクトはプリセット毎に設定できます。

2) ON (オン) :

あるプリセット内で使用したギターエフェクト設定を、他のプリセットに移動しても維持します。

Guitar Gate (ギター入力ゲート・スレッシュールド設定)

ギター本体に由来するノイズを入力段で抑制します。ここで設定するスレッシュールド値は、ノイズゲートを始動させるノイズレベルを意味します。スレッシュールド値を上げれば上げるほどわずかなノイズでもノイズゲートが有効になる反面、ギターのサステインが短くなるなど不自然な結果になりますのでご注意ください。

セットアップ | ループ機能

Input (入力)

本項目では、ループに録音するオーディオ・ソースを設定します。設定は次の3種類から選べます。

1) LEAD + GUITAR (ボーカル + ギター) :

ボーカルとギターの全シグナル、及びそのシグナルに対して付加されたエフェクト類がループに記録されます。

2) GUITAR (ギター) :

インストゥルメント入力から入力されたシグナル、及びそのシグナルに対して付加されたエフェクト類がループに記録されます。

3) LEAD (ボーカル) :

マイク入力から入力された音声、及びその音声に対して付加されたエフェクト類がループに記録されます。

4) AUX (AUX入力) :

AUX入力から入力された音声がループに記録されます。

5) ALL (全て) :

入力ソース全てのシグナル、及びその音声に対して付加されたエフェクト類がループに記録されます。

Undo (やり直し)

Undo (やり直し) 操作の有効/無効を設定します。

1) ON (オン) :

ループに対して行われた最後の変更内容をやり直すことができます。ON時のループ時間は最大15秒です。

2) OFF (オフ) :

ループのやり直し操作を無効にします。これによりループ領域用に確保されているメモリーをフルに活用することが可能となり、最大30秒のループを作成することが可能となります。

Loop Feedback (ループ・フィードバック量)

多重レイヤーで構成されるループを作成する時、録音した100%の音量のままループを再生し続けると、レイヤーが増えるにつれ当然ループの音量も上がり続けます。その結果ループ音量がVoiceLive Playの出力能力を超え、歪みノイズが発生します。このノイズ発生を防ぐために、ループ・フィードバック量を設定します。新規ループ・レイヤーは100%の音量で録音されますが、既存のループは設定されたフィードバック音量でミックスされます。

ループ・フィードバック量は「90%」がひとつの目安になります。



MIDI Chan (MIDIチャンネル)

VoiceLive Play GTXがノート情報を参照するMIDIチャンネルを設定します。

接続しているキーボード等の機器のMIDIが、VoiceLive Play GTXのMIDIと同じチャンネルに設定されていることを確認してください。

CC Chan (MIDI CCチャンネル)

VoiceLive Play GTXがCC情報を参照するMIDIチャンネルを設定します。

接続しているキーボード等の機器のMIDIが、VoiceLive Play GTXのMIDIと同じチャンネルに設定されていることを確認してください。

VoiceLive Play GTXのMIDI CCチャンネルは下記の通りとなります。

- パッチ切り替え：一般
- キー設定：30
- スケール設定：31
- HIT On/Off：28 (トグル：0~63/64~127)
- TALK On/Off：114 (トグル：0~63/64~127)

Split Dir (スプリットノート・ディレクション)

ノート情報を取得する対象となる鍵盤の位置を設定します。本ページ下部の「Splitnote」も併せてご確認ください。

1) Above (上) :

鍵盤のスプリットノートより上の鍵盤が奏でる音をノート情報として取得します。

2) Below (下) :

鍵盤のスプリットノートより下の鍵盤が奏でる音をノート情報として取得します。

Filter (フィルター)

特定のMIDIメッセージを無視するためのフィルター設定です。

1) None (フィルター無し) :

全てのMIDIメッセージをプロセッシングします。

2) Prgchange (プログラム・チェンジ) :

プログラム・チェンジ・メッセージを受信しても無視します。

3) SysEx (システム・エクスクルーシブ・メッセージ) :

SysExメッセージを受信しても無視します。自動ファームウェア・アップデートなどを防ぎます。

4) PC + SysEx (プログラム・チェンジ + システム・エクスクルーシブ・メッセージ) :

プログラム・チェンジ・メッセージ及びSysExメッセージを受信しても無視し

Transpose (移調)

受信する全てのノート情報を移調します。移調は上下各方向に4オクターブが限界となります。

Splitnote (スプリットノート)

鍵盤の上下を分ける境界位置を設定します。ここで設定した内容が、「Split Dir」の設定にも反映されます。

セットアップ | MIDI 設定 (続き)

SysEx ID (システム・エクスクルーシブID)

VoiceSupportアプリを使用していない場合は、SysExメッセージを送信するMIDIプログラムIDがVoiceLive Play GTXのIDと同一に設定されていることをご確認ください。

PBRange (ピッチバンド・レンジ)

ピッチバンドのレンジをセミトーン (半音) 毎に設定します。最大レンジは12セミトーン (1オクターブ) になります。

MIDI Control (MIDIコントロール)

VoiceLive Play GTXをMIDIコントロール・メッセージに対応させます。

1) Merge (結合) :

MIDI及びUSBの両端子から送られて来るコントロール・メッセージを受信します。

2) MIDI :

MIDI端子から送られて来るコントロール・メッセージを受信します。

3) USB :

USB端子から送られて来るコントロール・メッセージを受信します。

※VoiceSupportアプリを使用する場合は「Merge」もしくは「USB」に設定してください。

搭載エフェクト（ボーカル編）

VoiceLive Play GTXには下記のボーカル用エフェクトが搭載されています。



μMod
モジュレーション



エコー&
ディレイ



リバーブ



ハーモニー



ダブリング



トランスデューサー



ハードチューン
&
ピッチ補正



トーン

全てのエフェクトに共通のパラメーターは「Control（コントロール）」のみで、次の3つの設定から選択可能です。

Control（コントロール）

エフェクトのOn/Offを切り替えます。

1) OFF（オフ）：

エフェクト・ブロックは無効となり、プロセッシングは行われません。

2) ON（オン）：

エフェクト・ブロックは有効となり、エフェクト・ブロック内で選択されているスタイルの効果をプロセッシングします。

3) HIT：

HITボタン、もしくはMP-75マイクに搭載のMicControlボタンを操作した場合にエフェクトがプロセッシングされます。

※HITボタンはギター用エフェクト・ブロックの操作には対応していません。

μ Modモジュール

μ Modエフェクト・ブロックには、フランジャー、フェイザー、パンナー、回転スピーカーなどのエフェクトが用意されています。パラメーターは次の2種類となります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

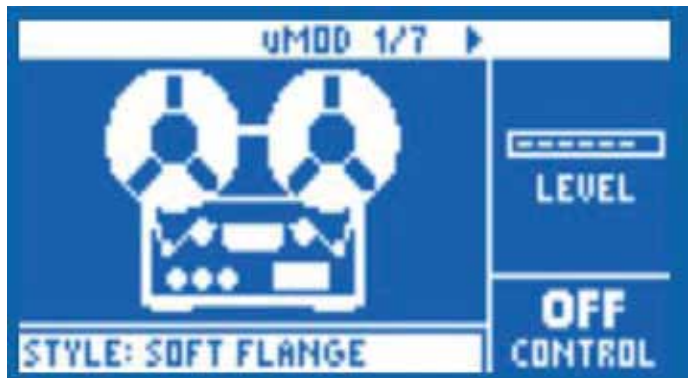
エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

エフェクト・ブロック内に用意されているエフェクトのスタイルを選択します。エフェクト・スタイル選択ページにアクセスするには、ディスプレイ左側に配置されている一番下のソフトボタンを押します。エフェクト・スタイル選択ページに入ったら、コントロール・ノブで任意のスタイルを選択してください。

μ Modモジュール / エフェクト・スタイル一覧

1. MICROMOD CLONE
2. MICROMOD WIDER
3. THICKEN
4. LIGHT CHORUS
5. MEDIUM CHORUS
6. WIDE CHORUS
7. MONO CHORUS
8. FAST ROTOR
9. FLANGER
10. FLANGE FEEDBACK
11. FLANGE NEGATIVE
12. MONO FLANGE
13. SOFT FLANGE
14. PANNER
15. TUBE
16. UP TUBE
17. DOWN TUBE
18. DOWN & UP TUBE
19. RISE AND FALL
20. OTTAWA WIDE
21. CYLON MONO
22. CYLON STEREO
23. ALIEN VOICEOVER
24. UNDERWATER



ボーカル・エフェクト詳細 | Delay (ディレイ)

Delay (ディレイ)

ディレイ・エフェクトは、入力信号を反復し、いわゆる「山びこ」効果を演出するエフェクトです。

パラメーターは次の2種類となりますが、より詳細の設定を行いたい場合は「Advanced (アドバンスド)」モードに入ります。

1) Feedback (フィードバック) :

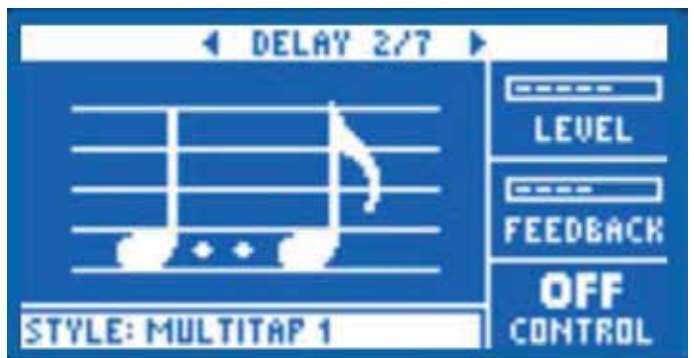
エフェクト・ブロックに信号を戻す量を設定します。この値が高ければ高いほど、ディレイ・エフェクトの反復回数が増えます。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

エフェクト・ブロック内に用意されているエフェクトのスタイルを選択します。エフェクト・スタイル選択ページにアクセスするには、ディスプレイ左側に配置されている一番下のソフトボタンを押します。エフェクト・スタイル選択ページに入ったら、コントロール・ノブで任意のスタイルを選択してください。

Delay (ディレイ) / エフェクト・スタイル一覧

1. QUARTER
2. EIGHTH
3. TRIPLET
4. DOTTED
5. LONGDOT
6. LONGTRIP
7. SIXTEENTH
8. PINGPONG 1
9. PINGPONG 2
10. PINGPONG 3
11. MULTITAP 1
12. MULTITAP 2
13. MULTITAP 3
14. MULTITAP 4
15. MULTITAP 5
16. MULTITAP 6
17. CLASSICSLAP
18. SINGLES LAP



Advanced (アドバンスド) モード

ディレイの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

3) Filter Style (フィルター・スタイル) :

次の13種類のフィルター設定から、ディレイのサウンド・スタイルが選択可能です。

Digital, Tape, Analog, Radio, Megaphone, Cell Phone, Lo-Fi, Hi Cut 1, Hi Cut 2, Hi Cut 3, Low Cut 1, Low Cut 2, Low Cut 3

4) Tempo (テンポ) :

ディレイ・エフェクトのテンポをマニュアルで設定できます。テンポはプリセット毎に保存可能ですが、セットアップ・ページで「Global Tempo (グローバル・テンポ)」がOnに設定されている場合は、全プリセットがグローバル・テンポの基準に設定されたプリセットのテンポに追従します。

ボーカル・エフェクト詳細 | Reverb (リバーブ)

Reverb (リバーブ)

声に空間的な奥行きを与える残響エフェクトです。

エフェクト・ブロックを構成するパラメーターは、次の3種類となります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Decay (ディケイ) :

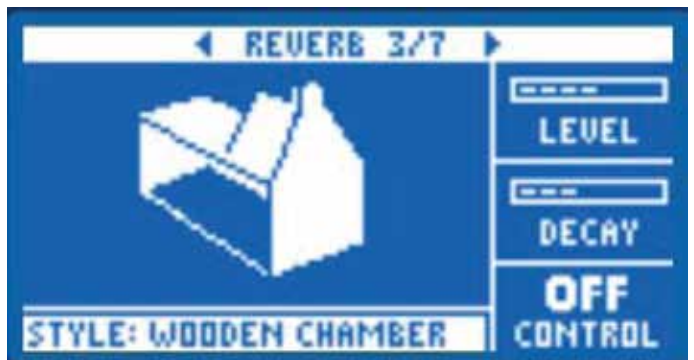
リバーブ効果が完全に消えるまでの減衰時間を調整します。長い設定では広い空間を、短い設定では狭い空間を擬似的に演出できます。

3) Style (エフェクト・スタイル) :

疑似空間の広さと素材が選べます。

Reverb (リバーブ) / エフェクト・スタイル一覧

1. SMOOTH PLATE
2. REFLECTION PLATE
3. THIN PLATE
4. BRIGHT PLATE
5. REAL PLATE
6. REAL PLATE LONG
7. JAZZ PLATE
8. QUICK PLATE
9. SOFT HALL
10. AMSTERDAM HALL
11. BROADWAY HALL
12. SNAPPY ROOM
13. LIBRARY
14. DARK ROOM
15. MUSIC CLUB
16. STUDIO ROOM
17. WAREHOUSE
18. BOUNCY ROOM
19. BRIGHT CHAMBER
20. WOODEN CHAMBER
21. ST. JOSEPH CHURCH
22. DOME CHAPEL
23. HOCKEY ARENA
24. MUSEUM
25. INDOOR ARENA
26. COZY CORNER
27. THIN SPRING
28. FULL SPRING



ボーカル・エフェクト詳細 | Harmony (ハーモニー)

Harmony (ハーモニー)

リードボーカルに対して自動でハーモニーを生成するエフェクトです。

パラメーターは次の3種類となりますが、より詳細の設定を行いたい場合は「Advanced (アドバンスド)」モードに入ります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の一番上のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Key (キー設定) :

ハーモニー生成で最も重要なのは、キーを正しく設定することです。キー設定を間違えて設定すると、楽曲に対して不協和音のハーモニーが生成されてしまいますのでご注意ください。キーの設定方法に次の2種類があります。

a) Auto (自動) : インストゥルメント入力 > MIDI入力 > AUX入力 > RoomSense内蔵マイクの優先順位で各入力信号から自動でキー情報を検出します。

b) Key (キー設定) : 手動で楽曲のキーを設定します。キーは12段階 (C~A) で設定可能です。

3) スタイル (ハーモニー・スタイル) :

ハーモニーの声数、及びハーモニーの演出スタイルが選べます。

Harmony (ハーモニー) / エフェクト・スタイル一覧

1. HIGH
2. HIGHER
3. LOW
4. LOWER
5. OCTAVE UP
6. OCTAVE DOWN
7. HIGH & LOW
8. HIGH & HIGHER
9. HIGH & LOWER
10. HIGHER & LOWER
11. HIGHER & LOW
12. LOWER & LOW
13. OCT DOWN & UP
14. OCT DOWN & HIGHER
15. OCT DOWN & HIGH
16. OCT DOWN & LOW
17. OCT DOWN & LOWER
18. OCT UP & HIGHER
19. OCT UP & HIGH
20. OCT UP & LOW
21. OCT UP & LOWER
22. +7 SEMITONES
23. -5 SEMITONES
24. +7 & -5 SEMITONES
25. +12 & +7 SEMITONES
26. +12 & -5 SEMITONES
27. -12 & +7 SEMITONES
28. -12 & -5 SEMITONES



Advanced (アドバンスド) モード

ハーモニーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

4) Scale (スケール設定) :

キー設定が「Auto (自動)」ではなくマニュアル・モードの時、キーに対してスケール選択が可能です。スケール設定には次の6種類が用意されています。

- a) メジャー・スケール : Major 1、Major 2、Major 3
- b) マイナー・スケール : Minor 1、Minor 2、Minor 3

ボーカル・エフェクト詳細 | Double (ダブリング)

Double (ダブリング)

「ダブリング」や「シッケニング」と呼ばれる本エフェクトは、リードボーカルに対してユニゾン・ボーカルを複数足し、微量なタイミングと音色の変化を加え、厚みを持たせヌケを良くし、存在感を持ち上げるエフェクトです。パラメーターは次の2種類が用意されています。

1) Level (エフェクト・レベル) :

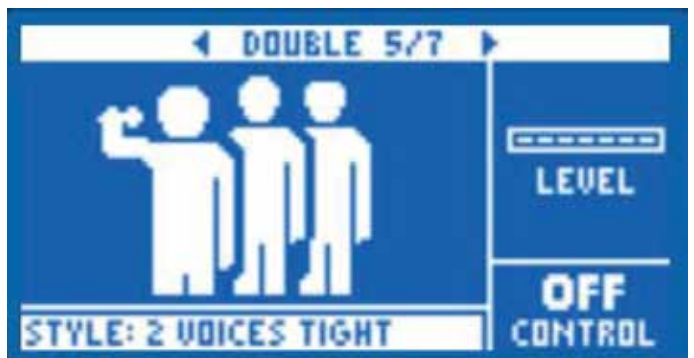
エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

ダブリング・ボイスの声数とタイミングによって異なるスタイルが選択可能です。

Double (ダブリング) / エフェクト・スタイル一覧

1. 1 VOICE TIGHT
2. 1 VOICE LOOSE
3. 2 VOICES WIDE
4. SHOUT



- ※ 「TIGHT (タイト)」はリードボーカルに対して短い間隔でダブリング・ボイスを生成します。
「LOOSE (ルーズ)」は長めの間隔を持ち、よりエフェクト感が増します。

ボーカル・エフェクト詳細 | HardTune (ハードチューン / 強制ピッチ補正)

HardTune (ハードチューン / 強制ピッチ補正)

一般的に「シェール効果」、「オートチューン」、もしくは「ケロケロボイス」と呼ばれている特殊な効果を演出します。本エフェクトは次の3つのパラメーターにより構成されています。

1) Shift (シフト) :

入力音声の音程に対して、直近のセミトーン (半音) に強制的にピッチを補正します。補正ポイントはリードボーカルに対して上下各方向に12セミトーン (2オクターブ範囲) 用意されています。

2) Gender (性別) :

声の性別をより女性的 / 男性的に変更することが可能です。極端な設定では不自然な結果になりますが、場合によってはそれをひとつの演出として効果的に使うのも面白いかも知れません。

3) スタイル (エフェクト・スタイル) :

ハードチューン・エフェクトの精度、スピード、そして強製の度合いによって異なるスタイルが選択できます。

HardTune (ハードチューン / 強制ピッチ補正) / エフェクト・スタイル一覧

1. POP
2. COUNTRY GLISS
3. ROBOT
4. CORRECT NATURAL
5. CORRECT CHROMATIC
6. DRONE
7. GENDER BENDER



ボーカル・エフェクト詳細 | Transducer (トランスデューサー)

Transducer (トランスデューサー)

歪みやその他のフィルター処理を行い、メガホン・ボイスなどの過激なエフェクトを生成します。本エフェクト・ブロックは、次の3種類のパラメーターにより構成されています。より細かい設定を行いたい場合は、Advanced (アドバンスド) メニューにアクセスします。

1) Drive (ドライブ) :

音声シグナルに対して付加するオーバードライブ適用量を調整します。

2) Filter (フィルター) :

トランスデューサー効果の広さを定義します。フィルターを狭くするとラジオ・ボイスのような効果を、広くすると迫力のあるメガホン・ボイスのような効果を得られます。スタイルによってフィルター効果は異なります。

3) スタイル (エフェクト・スタイル) :

エフェクトのスタイルを設定します。ディスプレイ画面の左横下に配置されているソフトボタンを押すと本メニューにアクセスできます。エフェクト・スタイルは下記の中から選べます。

Transducer (トランスデューサー) / エフェクト・スタイル一覧

1. MEGAPHONE
2. RADIO
3. ON THE PHONE
4. OVERDRIVE
5. BUZZ CUT
6. STACK
7. TWEED
8. COMBO



Advanced (アドバンスド) モード

トランスデューサーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

4) Routing (ルーティング) :

選択されたオーディオ・パスにエフェクト処理を行います。

- a) OUTPUT (出力) : リード・ボーカル、及びすべてのボーシング (ハーモニー/ダブリングなど) にエフェクトを適用します。
- b) FX (エフェクト) : エフェクト成分 (ディレイ成分など) にのみ、トランスデューサー・エフェクトを適用します。

5) Gate Threshold (ゲート・スレッシュホールド) :

トランスデューサーはPAフィードバックが発生しやすいエフェクトのため、独自のノイズゲートを装備しております。スレッシュホールド値を高く設定しておくことで、高レベルの入力があった場合にのみエフェクトが作動するようになり、歌っていない箇所などでフィードバックが起り

6) Gain (ゲイン) :

トランスデューサー・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

搭載エフェクト（ギター編）

VoiceLive Play GTXに搭載のギター・エフェクト群は、ボーカル・エフェクトと同様、スタイルによってプリセットが予め用意されています。各スタイルは「Advanced（アドバンスド）」メニューにて詳細調整が可能です。グローバル設定で「Global Guitar FX」がOnに設定されていない限り（P14参照）、ギター・エフェクト設定はプリセット毎に保存されます。

スタイルを選択した後で設定をカスタマイズした場合、別のスタイルに切り替えるとカスタマイズ内容は破棄されます。気に入ったカスタマイズ内容は必ず保存するようにしましょう。なおファクトリー・ギタースタイルは上書き保存できないのでご注意ください。

気に入ったカスタム・スタイルを複数のプリセットで共用したい場合は、カスタム・スタイルを新しいプリセット場所に保存して、ボーカル・エフェクトを調整するのが効率的です。

ギター用エフェクトには次の4つのパラメーターが用意されています。

Amp（アンプ選択）

11種類のアンプからサウンドを選択できます。

1. Acoustic：アコギ/PA送り用クリーン・トーン
2. Clean：Fender Twin
3. Comp：Fender Twin + コンプ
4. Comp Atk：Fender Twin（「Bright」スイッチOn）+ コンプ
5. BF Combo：Fender '65 Deluxe + オーバードライブ
6. Bright：Modern Fender + オーバードライブ
7. Crunch 1：Marshall Plexi
8. Crunch 2：Hiwatt
9. Crunch 3：Marshall Plexi
10. Honk：ビンテージ・コンボアンプ
11. Insane：Mesa Rectifier

Drive（ドライブ）

歪み量を調整します。Drive量が多いとディストーション・サウンドに近づきます。

Level（レベル）

アンプのマスター・ボリュームと同等の役割を果たします。プリセット間の音量を整えるのにも使用可能です。

搭載エフェクト（ギター編 / 続き）

Style（スタイル）

41種類のAmp（アンプ）/Drive（ドライブ）/Level（レベル）/Reverb（リバーブ）/μMod（モジュレーション）/Delay（ディレイ）の組み合わせから構成されるサウンド・スタイルが選べます。

※「AC」から始まるスタイルはアコースティック・ギター向けの設定です。

- | | | | |
|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|
| 1. MED CRUNCH | 11. CLEAN FLANGER | 21. EDGE DRIVE | 31. INSANE FLANGER |
| 2. WIDE FLANGE DRI | 12. CLEAN ROTOR | 22. MOD DLY FX | 32. OD CHORUS |
| 3. MOD DELAY | 13. CRUNCH VERB | 23. COMP CHORUS | 33. AC HALL |
| 4. AC ROOM + THICK | 14. TOUCH DRIVE | 24. ROTOR DRIVE | 34. AC ROOM |
| 5. TEXAS HONK | 15. DARK DRIVE | 25. ETHEREALITY | 35. AC ROOM +THICK |
| 6. CLEAN SPRING | 16. 12 STRING | 26. HONK SLAP | 36. COMP + HALL |
| 7. LONG AMBIENCE | 17. FLANGE DRIVE | 27. ROOMY HONK | 37. AC LONG FX |
| 8. CLEAN AMP | 18. 80's GLAM | 28. METAL RECTIFIER | 38. AC SLAP ROOM |
| 9. CLEAN LONG VERB | 19. MOD DLY PANNER | 29. RECTO 2 | 39. AC PONG FX |
| 10. CLEAN ROOM | 20. COMP TREMOLO | 30. METAL WIDE | 40. AC FLANGE |
| | | | 41. AC WIDE |

Advanced Guitar（アドバンスド・ギター・メニュー）

Advanced Guitar（アドバンスド・ギター・メニュー）にアクセスするには、ギター・エフェクト・ページが表示されている時に任意の青いLEDソフトボタンを長押しします。

Advanced Guitarは3ページで構成されており、μModモジュレーション/リバーブ/ディレイ/EQ/コンプ/テンポ/スピーカー・ロールオフなどの設定が調整可能です。

ページ1：

μ Mod Style（μ Modモジュレーション・スタイル設定）

コーラスやフランジャーなどのモジュレーション・エフェクトのスタイルを選択します。ここで選択できるスタイルは、「ボーカル・エフェクト詳細/μModモジュレーション」の項に記載のリストと同内容になります。

μ Mod Level（μ Modモジュレーション・レベル設定）

エフェクト・レベルを設定します。（Off～0 dB）

Delay Style（ディレイ・スタイル設定）

ディレイのスタイルを選択します。ここで選択できるスタイルは、「ボーカル・エフェクト詳細/Delay（ディレイ）」の項に記載のリストと同内容になります。

Delay Level（ディレイ・レベル設定）

エフェクト・レベルを設定します。（Off～0 dB）

Reverb Style（リバーブ・スタイル設定）

リバーブのスタイルを選択します。ここで選択できるスタイルは、「ボーカル・エフェクト詳細/Reverb（リバーブ）」の項に記載のリストと同内容になります。

Reverb Level（ディレイ・レベル設定）

エフェクト・レベルを設定します。（Off～0 dB）

※各ギター用エフェクトはボーカル用の設定とは独立して設定可能です。

搭載エフェクト（ギター編 / 続き）

ページ2 :

Treble（トレブル）

高域周波数のブースト／カットを行います。EQポイント、及びQカーブは選択されているアンプ・スタイルによって異なります。

Bass（ベース）

低域周波数のブースト／カットを行います。EQポイント、及びQカーブは選択されているアンプ・スタイルによって異なります。

Mid（ミドル）

中域周波数のブースト／カットを行います。

Mid Freq（中域周波数帯域）

調整する中域周波数帯域を選択します。

Comp Ratio（コンプ・レシオ）

ギターのシグナルパス上にある全てのシグナルに対するコンプレッション・レシオを設定します。

高い設定にするほどコンプ効果が大きくなります。

Comp Thresh（コンプ・スレッシュホールド）

コンプがアッテネートを開始するシグナル・レベルを設定します。

ページ3 :

μ Mod Speed（モジュレーション・スピード）

μ Modモジュレーション・エフェクトのスピードをHz（ヘルツ）で調整できます。

Delay Feedback（ディレイ・フィードバック）

ディレイ成分の反復回数を設定します。

Speaker Rollo（スピーカー・ロールオフ）

スピーカー・シミュレーションのローパス（ハイカット）を調整します。

ミックス設定



「MIX（ミックス）」ボタンを押すと、VoiceLive Play GTXの各エフェクト・ブロックや入出力のレベル調整が包括的に行えるミックス設定画面にアクセスできます。本ページには下記のパラメーターが用意されています。

1) Harmony（ハーモニー）：

ハーモニーやダブリングなどのボーシング・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

2) Guitar Level（ギター出力レベル）：

ギターの出力レベルを調整します。ギターの出力レベルは、ギターの入力レベルと相関関係にあります。

3) Out Level（出力レベル）：

VoiceLive Play GTXの全体的な出力レベルを調整します。

4) Delay/Reverb（ディレイ/リバーブ・レベル）：

ディレイとリバーブ・エフェクトのレベルを調整します。

5) Headphone Level（ヘッドフォン出力レベル）：

ヘッドフォンに出力されるレベルを調整します。

6) USB Level（USB入力レベル）：

USB端子から入力されるシグナルのレベルを調整します。

Practice (練習) モード



「Practice (練習)」モードでは、あなたの歌のピッチ情報を詳細に表示できます。ピッチ精度はもちろん、声域幅、苦手なノートなどリアルタイムで把握することができます。ぜひこの機能をフル活用して、正確なピッチを鍛えるのに役立ててください。

Practiceモードで表示される項目は下記の5種類となります。

1) Range (レンジ) :

最も低いノートと最も高いノートを表示し、声域幅が確認できます。

2) Longest (持続長) :

最も長く発声されたノートの持続時間を示します。

3) Accuracy (ピッチ精度) :

発声ピッチの精度を示します。ログをリセットせずに長時間使用すると、より正確に自分のピッチ精度が把握できます。

4) Average (ピッチ精度平均値) :

ピッチ精度の平均値をセント (半音の1/100) 単位に精度で分析します。自分の音感がシャープ気味なのかフラット気味なのか把握するのに役立つでしょう。

5) Problem Notes (「難あり」ノート) :

ピッチを外しやすい傾向のあるノートを示します。シャープ傾向にあるノートとフラット傾向にあるノートの2種類を表示します。

トラブル・シューティング

「故障かな？」と思ったら、まずは下記をご確認ください。

音が出ない・・・

- ・本体側面の「マイクゲイン・ツマミ」を調整し、LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
- ・ヘッドフォン、もしくはPAシステムに正しく接続されていることを確認してください。
- ・PAシステムをご使用の場合、PAシステムの配線が正しく結線されていることを確認してください。
- ・コンデンサー・マイクをご使用の場合、セットアップ・メニューでマイクの種類が「Condenser（コンデンサー）」に設定されていることを確認してください。

ハーモニー・エフェクトが不協和音になる・・・

- ・キー／スケール設定が楽曲の内容に適切に設定されていることを確認してください。
- ・内蔵RoomSenseマイクを使用してキー検知を行っている場合、楽曲の根幹となるコードを奏でている楽器の側に製品本体を設置してみてください。
- ・mp3プレイヤーをAUX入力に接続している場合、セットアップ・メニュー内の「AUX IN TYPE（AUX入力タイプ）」が「Tracks」に設定されていることを確認してください。（楽曲のミックスによってキー検知の精度は異なります）

エフェクトが反映されない・・・

- ・製品本体が「TALK」モードになっていないことをご確認ください。
- HITスイッチLEDが点滅している場合、HITスイッチを1回押して、通常オペレーション・モードに戻してご使用ください。

プリセット内容を工場出荷状態に戻したい・・・

- ・電源投入時に、コントロール・ノブの両脇の左右の矢印ボタンを同時に長押ししてください。
- ※この操作を行うと全てのプリセット情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。

製品を初期化したい・・・

- ・電源投入時に、「BACK」と「STORE」ボタンを同時に長押ししてください。
- ※この操作を行うと全てのプリセット、及びセットアップ情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。

工場出荷状態に戻す操作を行う前に、必ずVoiceSupportアプリでバックアップを取るようにしましょう。

製品に対するご質問、及びご意見がございましたら、TCグループ・ジャパン/サポートデスクまでご連絡ください。

<http://tcjsupport.custhelp.com/app/home>

info@tcgroup-japan.com

電話：03-5302-4947（平日12時～17時）

プリセット一覧

1 CALI HOTEL	61 ROLLIN DEEP	121 GALAXIES OWL CT	181 MARBLE WALLS
2 I STILL HAVEN'T	62 U MAKE ME COBRA	122 TAKE IT OFF K\$A	182 CLOCK RADIO
3 U GIVE LOVE B-N	63 T'G'IF	123 EVENFLOW JAM	183 DISTORTED RADIO
4 BRICKWALL FLOYD	64 TAKE A B ROAD	124 ROCKET MANN	184 DISTORT DOWN
5 YOU BELONG W/ME	65 LEICA LOVESNG	125 CALIFORNIA KATY	185 DARK RM DBL
6 HOOCHIE MAN	66 STRANGE GLOVE	126 INTER GALACTIC	186 CHORUS DLY DBL
7 DOG DAYS ROVER	67 FEELGD GORILLAS	127 WATCHA DERULO	187 DISTORTED VOX
8 ENTER METALLICA	68 PAIN JEATWRLD	128 SHOW GOES LUPE	188 SING GUITARSOLO
9 CRAZY CLINE	69 HEAR 2 STAY	129 STORY OF TAYLOR	189 FLANGER
10 SMILE AVRILL	70 CLOSER NIN	130 BILLIE J MJ	190 ROTOR CABINET
11 EVER LONG FOO'S	71 LOSNG RELIGION	131 COME 2GETHER	191 FALLING 4EVER
12 WKIN ON THE SUN	72 THEN MORNIN CMS	132 ELVIRA O-R BOYS	192 AUTO WAWAWA
13 GREEN HOLIDAY	73 JST SAY YES SP	133 TREWLY TIRED	193 NICE CHORUS
14 PARTY ANTHEM	74 MEMORIES WZR	134 ALL I'VE USED	194 STRANGE ECHO
15 TAKE IT EZ	75 SOLDIER DIXIES	135 WANNA SPICE?	195 MEGAPHONE ECHO
16 TRAGIC COURAGE	76 FOLSOM CASH	136 MORE EXEPTIONS	196 LONG TAPE ECHO
17 DON'T STAND SO	77 BLUE RHIMES	137 PARADISE ROSE	197 INHUMAN
18 RED GRETCHEN	78 EASY FLATTS	138 NOVEMBER GUNS	198 OCTAVE GANG
19 HOLD ON CORN	79 LIKE U WERE DNG	139 GET ON YR BOOTS	199 1984
20 SUMMER 1969	80 50 CENT CANDY	140 M&M NOT AFR8D	200 BUNCH O BASS
21 WANT U2 WANT ME	81 WHERE THEM GRLS	141 HAPPY MUD VEIN	201 TUNED UP + DOWN
22 OFF SPRING JOB	82 DON'T TREAD 311	142 BEST EVER HAD	202 TWO HIGH
23 BUILDING MYSTRY	83 TRU FAITH	143 PONG DLY TUNED	203 CHORALE THREE
24 KANYE LOCKDOWN	84 HOT IN HRRE	144 STEREO GOLD DBL	204 RADIOHARMNYDLY
25 JAYLO ON FLOOR	85 HOLD IT AGAINST	145 GROUP SHOUT	205 POP DUO
26 HIT DOUBLING	86 HANDS UP	146 DOUBLE DOWN	206 HI LO BACKUP
27 GEDDIT STARTED	87 BABY BIEBER	147 DOUBLE UP	207 DEEP DOWN
28 PONG DELAY	88 TICKTOCK	148 BEASTIE SHOUT	208 CLOSE 1UP+1DOWN
29 GORGEIOUS HALL	89 WE R WHO WE R	149 OCTAVE SHOUT	209 CLOSE BELOW
30 MEGAPHONE	90 FIX U	150 ARENA CHANT	210 WET OCTAVE DN
31 CLOSE UP 3RD	91 LOLLIPOP	151 EMJAY 2011	211 ONE UP ROOM
32 CYBORG	92 POKERFACE	152 TINKER BELL	212 COUNTRY GIRLS
33 EDGE OF GAGA	93 RITE B4 YR EYES	153 THICKER YOU	213 POP TRIO
34 AMERICAN GRNDAY	94 DJ GOT US FALLN	154 POPEYE	214 LOWER DUO
35 IN AIR 2NIGHT	95 LIVING ON PRAYR	155 MALE TO FEMALE	215 LOWER + DOUBLE
36 BARI WHITE	96 SURRENDER	156 DEEP TALKER	216 DARK SWIRL
37 TAYLOR SPARKS	97 JUST WHAT INEED	157 TOTALLY ALIEN!	217 TWO LOW
38 I AM EGGMAN	98 HURTS GOOD	158 OCT UP UNISON	218 FIFTH UP
39 TEEN DREAM KP	99 BACK BLACK +OCT	159 SPRING REVERB	219 UP TWO ROOM
40 BAREFOOT BLUEJN	100 JAGGER MOVES	160 PLATE VERB+DBL	220 SLAP ABOVE
41 BOYS O' FALL	101 GOODLIFE	161 PRACTICE ROOM	221 UPDN FLANGE DLY
42 HILLS OF BEVRLY	102 GEORGE M FAITH	162 JUST AMBIENCE	222 BEACHBOY RADIO
43 PINK MONEY	103 DYNAMITE CRUISE	163 OLD SPRING VERB	223 TUNED 2 UP
44 AS GOOD AS I WS	104 APOLOGIZE TLAND	164 BRIGHT VERB	224 TUNED 1 BELOW
45 LOVE WAY U LIE	105 VIOL HILL	165 CAVERNOUS VERB	225 GREGORIAN
46 HOW TA LOVE LIL	106 FASTLANE EAGLE	166 BOUNCY ROOM	226 AUTOTUNE RADIO
47 YMCA PEOPLE	107 BENNIE & JETZ	167 MOD TAIL VERB	227 ELVIS RADIO
48 PAPARRAZZI	108 GO YR OWN WAY	168 ECHO VERB	228 DISTORTO
49 GTTA B SOMEBODY	109 2PRINCES S DOCS	169 SLAP ROOM VERB	229 SOFT FLANGE
50 THX 4 THE MMRS	110 WILDE HORSES	170 SINGLE SLAP	230 ROBO DELAY
51 NO ONE ALICIA K	111 STEVE MCQUEEN	171 ROCKABILLY SLAP	231 ROBO + DBL
52 KRYPTONITE 3DD	112 RUNNING ON MT	172 TAPE ECHO	232 AUTO PANNER
53 HEY JUDE-Y	113 BELIEVE SHARE	173 PING PONG ECHO	233 OCTAVE FLANGE
54 IN MY COLDPLACE	114 MOMENT SHANIA	174 LR RHYTHM ECHO	234 4TH SHIFT+OCTDN
55 BRING ME 2 LIFE	115 THIS LOVE M5	175 TRIPLET ECHO	235 BLANK PRESET
56 I'LL COME4U NBK	116 VOGUE MDONNA	176 LO FI ECHO	
57 SUPERMAN PEACE	117 LIKE TN SPIRIT	177 LR M'PHONE ECHO	
58 TALK 2 YA L8R	118 B4 HE CHEATS	178 1/4 DELAY	
59 CLUB CANT HNDL	119 GRENADE FM MARS	179 LONG TRIP DELAY	
60 LOVESONG MANSON	120 DIRE STR8Z WALK	180 TOTAL IMMERSION	

